

あ い さ つ

砂川市長 善岡 雅文



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するとともに、不安定な世界情勢や急速な円安による原油・物価の高騰など私たちを取り巻く環境は大変厳しいものでありました。そのような中でも、市内では第50回記念納涼花火大会の実施、北海道ベースボールリーグ所属「すながわりベース」の発足・リーグ優勝、中学生・高校生の部活動などでの全国大会出場など明るいニュースも聞かれたところであります。

また、感染防止のための外出自粛や物価高騰などにより消費の低迷が続き、市内事業者が大きな影響を受けていることから、市内消費活動を喚起し、売り上げの早期回復を支援するプレミアム商品券の発行、直接的または間接的な影響を受けた中小企業者への支援策として継続的に事業を営むことができるよう国や道の支援に加え、市独自の支援策と

して新型コロナウイルス感染症対策中小企業者支援給付金の支給などの支援を実施したところであります。原油価格・物価高騰への対策では、生活者支援として住民税非課税世帯や高齢者世帯、子育て世帯などへの給付金の支給に加え、高齢者世帯への冬季臨時福祉給付金の支給、さらには社会福祉施設などへの支援を実施してまいります。

これまで多くのご意見をいただいた小中学校の適正配置につきましては、子どもたちの多様な学習活動や部活動など切磋琢磨する環境を整え、適切な指導体制を確保するため、砂川中学校と53年の歴史を持つ石山中学校を統合し、本年4月1日からは新たな砂川中学校として第一歩を踏み出します。

駅前地区では、にぎわいの創出に向け、「まちの顔」となる新たな拠点施設的设计、既存施設の解体など事業を着々と進めております。

さらに、国で進めているマイナンバーカードの普及を図るとともに、電子申請や住民票の写しなどをコンビニエンスストアなどで取得できるサービスを開始するなど、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や効率的な行政運営に努めてまいります。

本年も「自然に笑顔があふれ 明るい未来をひらくまち」の実現を目指し、市民の皆様が安心して生活できるよう施策を進めてまいります。

市民の皆様がご健勝で幸多き年となるよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

新年のご

砂川市議会議長 水島 美喜子



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えられましたことと議員一同心からお喜び申し上げます。また、日頃より議会活動に対するご厚情とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、2月のロシアによるウクライナ侵攻は、世界を驚かせたと同時に国際社会の秩序を失わせ、世界の平和と安全を脅かす暴挙であり断じて許されるべきことではないことから、第1回市議会定例会において、ロシア軍の完全撤退と平和的解決を強く求め、政府に対して、国際社会との緊密な連携のもと迅速な対応を求める決議をしたところでございます。こうした暴挙の一つの要因とした世界経済の不安定さにより、国内においては、原油や原材料不足による物価の高騰、さらには円安などにより経済の先行きが不透明となり、市民生活に大きな影響を及ぼしております。一日も早く、世界の平和が取り戻され、安定した経済となるよう願っ

ております。

砂川市におきましては、7月に北海道電力砂川発電所の令和8年3月末をもつての廃止が公表されたところでありますが、市内経済への影響が懸念されることから、跡地利用も含め影響が最小限となるよう議論を重ねていかなければならないと考えております。

また、学校教育の大きな転換となる義務教育学校の設置につきましては、市議会としても先進自治体の視察を行いながら調査・研究を行い、議論してまいりましたが、建設形態を新築として現砂川中学校敷地内に建設することが市教育委員会会議臨時会で決定されたことから、今後は、子どもたちにとって可能性の広がる魅力ある学校となるよう多岐にわたり議論を進めてまいります。

今年には統一地方選挙が実施され、市議会も5月には新しい顔ぶれで発足いたします。議員一人一人が市民の皆様の多様なニーズをしっかりとくみ上げて市政運営に反映させ、皆様に期待される議会となるよう奮励してまいりますので、一層のご指導とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

年頭にあたり、今年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

本年もよろしく

お願い申し上げます

令和5年 元旦

砂川市議会議長一同

